まくら株式会社、Sevenrichと戦略的資本提携し、同グループに参画。枕づくり25年の経験を礎に「第二の創業」へ。法人向け事業を本格化し、寝具とウェルネスをつなぐ「睡眠エコシステム」構築へ

まくら株式会社（本社：千葉県柏市、代表：河元智行、以下：まくら社）は、バックオフィス領域を中心に基調の課題解決やバリューアップ支援に取り組むSevenrich（株式会社Sevenrichおよび株式会社Sevenrich Capital、本社：東京都渋谷区、代表取締役：服部 峻介・服部 賢三、以下「Sevenrich」）と戦略的資本提携を締結し、同グループに参画いたしましたので、お知らせいたします。

まくら社は「よく眠れる社会をつくる」「枕難民をゼロにする」をミッションに掲げ、枕を中心とした商品の企画開発・製造から、直営ECショップ20店舗での販売までを一気通貫で手がける企業です。累計販売数100万個を超える「王様の夢枕」や、パーソナライズ枕「THE PILLOW」をはじめ、400種類以上の枕類を展開しています。そのほかにも、睡眠データにもとづく調査レポート「まくら白書」の発刊、多数のOEM受託、レンタルやサブスクリプションなど、幅広い枕関連事業を手がけています。国内外10か所以上の提携工場との連携と、商社を介さない直接輸入により、ゼロから柔軟に商品を生み出す体制を整えており、自社での企画・製造とECでの直販を通じて培ってきた企画開発力とマーケティング力を強みとしています。

一方で、睡眠は心身の健康を支える基本的な営みであり、その課題は寝具単体にとどまらず、日中の活動量やストレス、生活習慣など多様な要因と結びついています。「よく眠れる社会をつくる」というミッションを実現するには、寝具の枠を超え、ウェルネス領域を横断した幅広いサービスとの連携が欠かせません。また、個人のお客さま向け（BtoC）のEC事業を主軸に成長してきたまくら社にとって、実店舗などのオフラインでの顧客接点の創出や、法人向け（BtoB）の提案営業・販路の拡大は、さらなる成長に向けて強化すべき領域でした。

こうした背景から、まくら社は本参画を「第二の創業」と位置づけ、事業開発・財務・人材・マーケティング・AI・DX・ヘルスケアの各領域におけるSevenrichの多面的な支援のもと、主軸であるBtoC事業の拡大と進化を加速させるとともに、BtoB事業を本格化してまいります。
さらに、2011年の創業以来、1,500社を超える企業、なかでも数多くのスタートアップの成長を支えてきたSevenrichから、スピード感と挑戦の精神を取り入れ、創業25年の専門企業として培ってきた「ものづくり」と「EC運営力」に、新たな推進力を掛け合わせてまいります。

今後は両社の連携により、枕をはじめとする寝具を起点に、オンラインとオフラインの顧客接点を融合させながら、運動・食事・入浴・休養といったウェルネス領域の取り組みをつなぎ、一人ひとりの眠りと健康を一貫して支える「睡眠エコシステム」の構築を推進してまいります。

なお、本件は、Sevenrichのグループ会社である株式会社Sevenrich Capital（本社：東京都渋谷区、代表：服部賢三）による株式譲受を通じたグループ参画となります。株式譲渡契約は2026年10月31日に締結され、同年11月16日に株式譲渡が実行されました。

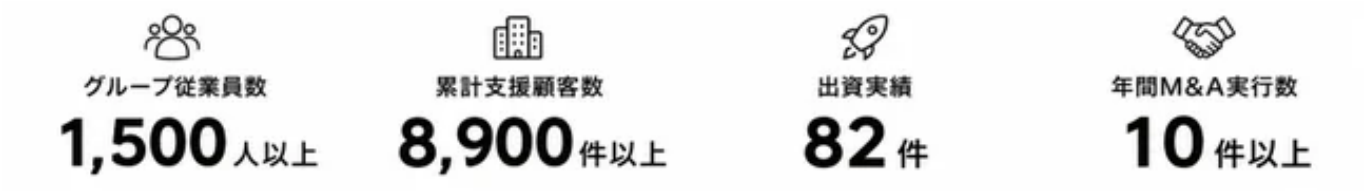
本リリースのポイント

1. **創業25年のまくら社が、1,500社超の成長を支えてきた**Sevenrich**のグループに参画し、「第二の創業」へ**
2. **法人向け事業、商品開発、サブスクリプションの**3**つの専門組織を、2026年12月から順次新設**
3. **寝具とウェルネスをつなぐ「睡眠エコシステム」の構築に着手**

数字で見るまくら社×Sevenrich



まくら社の数字



Sevenrichのグループにおける数字

まくら社とSevenrichのこれまでの歩み ― きっかけはnemuli



まくら社は、2004年に代表取締役の河元智行が設立した、枕・寝具の専門企業です。

2018年には、株式会社白球と共同で、パーソナルマットレスを手がける株式会社nemuli（以下：nemuli）を設立しました。2022年からはSevenrichも同社の経営に参画し、以来、3社で共同運営してまいりました。

その後、まくら社が2023年に立ち上げた、AIによる枕診断でお客さま一人ひとりに合わせた枕をパーソナライズしてお届けする「THE PILLOW」でも、Sevenrichのクリエイティブパートナーとともに写真撮影やWebサイト制作を進めるなど、ブランドづくりにおいて両社で連携してまいりました。

こうした約4年にわたる協業を通じて、両社は互いの強みや事業に対する考え方への理解を深めてまいりました。

グループ参画の背景

日本人の睡眠時間は、OECD（経済協力開発機構）の国際比較（2021年）において33か国中で最も短く、睡眠不足による経済損失はGDPの約2.92%に上ると試算されています（RAND Europe、2016年）。

まくら社は創業以来、こうした眠りの課題に「枕」という専門領域から向き合ってまいりました。これまで提供してきたのは、お客さま一人ひとりに合った枕や寝具といった「モノ」の提案が中心です。しかし、質の高い睡眠は夜の数時間だけで決まるものではなく、日中の過ごし方や心身の状態と深く結びついています。「よく眠れる社会をつくる」というミッションを実現するためには、寝具という「点」の提案から、日中から夜までの生活全体を支える「面」の提案へと、アプローチを広げていく必要がありました。
この構想を実現するには、寝具の企画開発やEC運営といった自社の強みに加え、事業開発、人材、マーケティング、ヘルスケア・ウェルネスサービスなど、より幅広い機能が欠かせません。
そこで、nemuliの共同運営を通じて信頼関係を築いてきたSevenrichと、今後のあり方について検討を重ねてまいりました。あわせて、事業領域の重なりが大きいnemuliをまくら社の完全子会社とし、両社の経営資源を一体的に生かせる体制へと再編することも含め協議した結果、Sevenrichのグループに参画し、両社で「睡眠エコシステム」の構築に取り組むことが最善であるとの判断に至りました。

なお、本参画は業績や資金面の課題によるものではなく、さらなる飛躍を目指す「攻めの成長戦略」の一環です。まくら社はこれまで着実に利益を積み重ね、安定した成長を続けてまいりました。今後は、その健全な経営基盤とこれまでに蓄積してきた資金・ノウハウに、Sevenrichの多面的な成長支援機能を掛け合わせ、事業拡大に向けた投資へと積極的に振り向けてまいります。

「睡眠エコシステム」とは

「睡眠エコシステム」とは、眠りを起点に「モノ」「コト」「サービス」をつなぎ、一人ひとりの眠りと健康を支え続ける仕組みです。



モノ：

枕やマットレスなど、一人ひとりの体に合わせた寝具、睡眠グッズ

コト：

運動・食事・入浴・休養など、眠りを左右する日中の過ごし方（パーソナルジムやサウナ、管理栄養士監修の健康食など、Sevenrichが展開する事業との連携を目指します）

サービス：

AI枕診断「THE PILLOW」をはじめとするパーソナライズ提案と寝ごこちのアフターサポート、睡眠データの調査・発信、企業の健康経営の支援

まくら社が培ってきた枕づくりの専門性と顧客接点に、Sevenrichの多様なウェルネス事業を掛け合わせ、「眠りに悩んだとき、まず頼れる場所」を目指します。

今後の取り組みについて

今後は、まくら社の「ものづくり・EC・眠りのデータ」と、Sevenrichの「ファイナンス・人材・マーケティング・ウェルネス事業」を掛け合わせ、互いの成長を後押しする関係を築いてまいります。
Sevenrichの支援によってまくら社の事業を伸ばすと同時に、まくら社のノウハウを、Sevenrichをはじめグループ各社や支援先、提携先などへ広げてまいります。

1．まくら社の成長戦略：Sevenrichとともに実現すること

【新たな3つの専門組織】

① 法人向け事業の本格展開「ビジネスソリューションチーム」を新設

まくら社内に、法人向け事業を専門に担う「ビジネスソリューションチーム」を、2026年12月に新設します。
nemuliの取締役で、まくら社の執行役員に就任予定の佐々木啓庄が担当し、宿泊施設や医療機関などへの寝具・睡眠グッズのOEMや卸売、共同商品開発を強化します。あわせて、健康経営の観点から、従業員の睡眠環境の改善につながる商品やサービスを企業へ提案します。まずはSevenrichのグループ各社や支援先企業への提案から開始いたします。

② 商品開発の専門組織「枕デザイン研究所」を新設

まくら社内に、商品企画・開発を専門に担う「枕デザイン研究所」を、2027年1月に新設します。
枕の構造・機能・デザイン・寝ごこちの研究を深め、商品開発の質とスピードを高めます。全員がマーケティングの視点を持つ「ものづくりのプロ集団」として、枕を中心に寝具・睡眠グッズなど幅広い商品の企画開発や、あらゆるものを枕と掛け合わせる「ピロートランスフォーメーション」に取り組みます。将来的には、新たな枕ブランドの立ち上げも視野に入れ、市場調査と検証を進めてまいります。

③ 枕のサブスク「THE PILLOW」の専門チームを新設

AI枕診断でお客さま一人ひとりに合わせた枕をお届けする「THE PILLOW」の専門チームを2027年3月に新設し、サブスクリプション事業を強化します。
枕を売って終わりではなく、一人ひとりの眠りに継続的に寄り添う新しい顧客体験を、独自のプロモーションやサービス開発を通じて広く届けてまいります。

【販売の強化】

④ SNS・動画マーケティングによるEC事業のさらなる成長

主軸である直営ECショップ20店舗の運営力に、SevenrichのSNS・動画・インフルエンサーマーケティングの知見と、AI・DXの技術を取り入れ、集客力と販売力を一段と高めてまいります。

⑤ グループ連携によるリアルな顧客接点の創出

Sevenrichとの連携を通じて、パーソナルジムやサウナなど、同社が展開する事業を生かし、枕や寝具を実際に体験できる機会の創出を検討してまいります。
これまでECが中心だったお客さまとの接点をオフラインにも広げ、オンラインとリアルをつなぐ購買体験を目指します。

【経営の土台づくり】

⑥ 「第二の創業」に向けたコーポレートブランドの刷新

「第二の創業」に合わせ、まくら社全体のブランディングを根本から見直します。
Sevenrichのクリエイティブ・マーケティングの知見を生かし、枕の専門企業として培ってきた信頼を受け継ぎながら、睡眠と健康を幅広く支える企業としての新たなブランド価値を確立してまいります。

⑦ 経営基盤と組織の強化

財務・経理・労務などのバックオフィス業務、採用・人材育成をSevenrichと連携して強化し、まくら社が商品開発と販売に一層注力できる体制を構築します。
あわせて、新しいことに挑み続ける文化を組織に根づかせ、次の成長を担う組織づくりを進めてまいります。

2．まくら社がグループにもたらす価値

① 眠りのデータ

AI枕診断「THE PILLOW」の12万件の睡眠統計データ、3万人超の調査をもとに毎年発行する「まくら白書」、累計100万個を超える販売実績など、眠りに関する独自のデータを蓄積しています。これらをグループのウェルネス事業やマーケティングに生かし、眠りと健康の好循環を生み出してまいります。

② ものづくり

まくら社は、枕にとどまらず、寝具・睡眠グッズ・日用品まで約3,000点の商品を取り扱うほか、自社での企画開発・製造も手がけています。国内外10か所以上の提携工場との連携や、商社を介さない直接輸入の体制も整えています。この体制を生かし、グループ各社や支援先企業の商品づくりを担う製造パートナーとしての役割を果たしてまいります。

③ EC運営

楽天市場をはじめとするECモールの運営から、TikTok Shopなどの新しい販売チャネルの活用、カスタマーサポートや出荷・配送まで、まくら社が長年培ってきたEC運営の一連のノウハウを、グループ各社や支援先企業と共有し、協業を進めてまいります。

④ ギフト展開

まくら社の完全子会社であるグルーヴ株式会社が運営するギフト専門メディア「母の日.me」「父の日.jp」を活用し、グループ各社の商品のギフト展開を支援します。ギフトに最適化した商品開発やパッケージデザイン、ラッピング・出荷業務の代行も行う予定です。

⑤ 広報・プレスリリース

まくら社は、PR TIMESのプレスリリースエバンジェリスト認定者を擁し、これまでに600本を超えるプレスリリースを配信してまいりました。広告に頼らず、広報の力で商品や事業の価値を社会へ届けるノウハウを、グループ各社や支援先企業と共有いたします。

代表者コメント

株式会社Sevenrich Capital 代表取締役 服部賢三のコメント

このたび、まくら株式会社をSevenrichの新たな仲間として迎えることとなりました。

まくら社は、社名のとおり枕に向き合い続け、商品企画からEC販売までを自社で積み上げてきた企業です。長年の販売を通じて蓄積されたお客さまの声と商品開発力に、大きな可能性を感じています。

まくら社とは、パーソナルマットレスを手がけるnemuliを共に運営し、これまでも一緒に事業をつくってきました。互いの考え方や強みを理解してきた相手だからこそ、今回の参画はその関係をさらに深める機会だと考えています。Sevenrichではジムやサウナなど、働く人の健康づくりやパフォーマンス向上に関わる事業に取り組んできましたが、良い眠りはその土台です。

まくら社の参画によって、グループとして届けられる価値が広がると考えています。

私たちは、M&Aを事業の次の成長をつくる機会だと捉えています。

まくら社が大切にしてきた商品づくりの姿勢、お客さまや取引先との関係性、組織文化を尊重しながら、Sevenrichの知見も生かし、さらなる成長に向けた事業基盤づくりに取り組んでいきます。

まくら株式会社 代表取締役 河元智行のコメント

枕一筋25年。

すべては、自分で買い替えた枕が合わず、体調を崩したことから始まりました。経験も、商品も、人脈も、資金もない。すべてがないところからのスタートでした。

「インターネットで枕は売れない」。そう言われた時代から、一人で始めた会社は、30名近い仲間とともに歩む会社になりました。

それでも、眠れない人は、まだ減っていません。

「枕難民をゼロにしたい」。

その思いで枕と向き合うなかで、枕だけでは届かない悩みも見てきました。良い眠りは、日中の過ごし方や心と体の状態とつながって、はじめて生まれるからです。

枕の先にも、まだできることがあるはず。そう思うようになりました。

そのとき、一緒に歩みたいと思えたのが、Sevenrichでした。

1,500社を超える企業の挑戦を支え、資金、人材、マーケティング、そして健康まで、事業を伸ばす力を持つ仲間です。その力と人柄を、これまで誰よりも近くで見てきました。

ものをつくる私たちと、挑戦を支えるSevenrich。

この2社なら、眠りの未来はもっと変えられる。そう信じています。

いま、私たちには、経験も、商品も、人脈も、資金も、そして同じ道を進む仲間もいます。すべてがそろったいま、もう一度挑戦します。

これが、まくら社の「第二の創業」です。

枕づくりへのこだわりは、これからも変わりません。支えてくださったお取引先の皆さま、ともに歩んできた社員、そして新しい仲間とともに。

たった1つの枕から始まったこの会社で、よく眠れる社会を、ここから本気でつくりにいきます。

今後の体制について

本参画後も、まくら社の代表取締役は引き続き河元智行が務めます。

取締役の小松明代をはじめとする既存の役員および従業員に、異動・変更はございません。

また、まくら社の商号、本店所在地、法人番号に変更はなく、お取引先さまとの既存の契約および取引条件は、本参画後もそのまま継続いたします。受発注、納品、請求、お支払いなどの実務についても、これまでどおりの運用となります。日常の業務運営、商品開発、およびお取引先さまの担当窓口・連絡先にも変更はございません。

お客さまにおかれましても、直営ECショップ、各ブランドの商品、カスタマーサポートは、これまでどおりご利用いただけます。

子会社・関連会社について

株式会社nemuli

nemuliは、2018年にまくら社と株式会社白球が共同で設立し、2022年にSevenrichが加わって以降、3社がそれぞれの強みを持ち寄るジョイントベンチャーとして運営してまいりました。本参画に伴い、nemuliはまくら社の完全子会社となる予定です。

グルーヴ株式会社

まくら社の完全子会社であるグルーヴ株式会社も、まくら社とあわせて同グループに参画いたします。同社が運営するギフト専門メディア「母の日.me」および「父の日.jp」は、今後も引き続き運営してまいります。

ECデータバンク株式会社

ECデータバンク株式会社は、2026年5月付で同社が自己株式を取得したことにより、まくら社が保有していた同社株式はすべて譲渡済みとなっております。そのため、同社は本件の対象には含まれておりません。また、同社の本社所在地および運営体制に変更はございません。
なお、まくら社代表取締役の河元智行は、引き続き同社の取締役を務めるとともに、個人としての主要株主として同社に関わってまいります。

株式会社Sevenrich Capital 会社概要

■会社名：株式会社Sevenrich Capital
■本社所在地：〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町9-8 KN渋谷3ビル 2F
■代表取締役：服部賢三
■設立：2025年7月7日
■事業内容：未上場株式等への投資、経営・M&Aに関するコンサルティング及び投資事業有限責任組合の運営管理業務
■事業内容の詳細：ビジネスの成長をあらゆる側面から支援するバリューアップ企業。Sevenrichが1,500社を超える企業支援で培った豊富な経験と多面的な機能を活かし、投資を通じて企業価値の向上を支援します。単なる資金提供ではなく、グループの総合的なバリューアップ機能で投資先企業の成長をあらゆる側面からサポートしています。
■URL：https://sevenrich-cp.jp/



まくら株式会社 会社概要

■会社名：まくら株式会社
■代表者：河元智行
■資本金：1,000万円

■設立：2004年4月12日（創業2001年・枕のD2Cブランド「アンニーク」の展開）
■本社所在地：〒277-0005 千葉県柏市柏4-8-14 柏染谷ビル4F
■TEL：04-7167-3007（代表）
■所属団体：日本寝具寝装品協会 正会員
■事業内容：枕を中心とした寝具・睡眠グッズの企画・開発・製造、およびインターネット通販（EC）を手がける専門企業です。現在は直営ECショップ20店舗を運営しています。これまでに100種類以上のオリジナル枕を企画開発し、取り扱う枕は400点以上、枕の累計販売数は100万個を超えています。また、多くの企業のOEM製造も手がけており、各社の商品づくりを、まさに「まくら」のように陰ながら支えています。
■URL：https://www.pillow.co.jp/



https://www.youtube.com/watch?v=DlBp8_7Gxp8

まくら株式会社のプレスリリース一覧
https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/10285

【本件に関するお問い合わせ先】
企業名：まくら株式会社
担当者名：経営企画室 河元智行
TEL：04-7167-3012
Email：kawamoto@pillow.co.jp
※営業の連絡はご遠慮ください。